



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

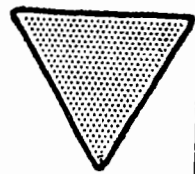
〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.7.15 No. 3427



7・28国会抗争に向けて

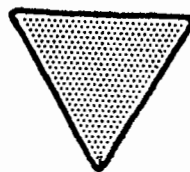


「髪の毛一本でも  
いいから……」

海部は、八月五日までに臨時国会を召集することを明らかにした。自衛隊の海外派兵はどこに行き着くのか？ われわれは、新しい時代を見いだすために、今、目の前で進行していることの結末について、しっかりと見極めなければならない。そして、二三年ぶりと言われる、異例の真夏の臨時国会召集で、強引に押しとおされようとしている、自衛隊海外派兵の法制化PKO法案と小選挙区制を何としても阻止しなければならない。

自衛隊派兵の行き着く先は、言うまでもなく、憲法改悪と徴兵制だ。防衛庁のある高官は、「国連平和協力法案」が国会で論議されているときに、「髪の毛一本でもいいから、とにかく自衛隊を海外に出したい」と叫んだ。この言葉のなかに、政府自民党の本音がはっきり表されている。「国際貢献」などはつきり言って眼中にないのだ。とにかく自衛隊を出したい、何かなんでも出したい、自衛隊を海外に出したという既成事実

をつくりたい。これが本音なのだ。われわれが「世界に貢献する」などという聞こえのいいスローガンからめとられていられる裏で、支配



すでに十年前から  
準備は始まっている

自民党は、八一年、「戦後政治を総決算する、国家を大改造する」と、「行・財政改革」を打ち出したとき、すでにその結論として、憲法改悪と徴兵制の導入に向けて準備を始めていたのだ。支配階級は、この十年間、「行革で大掃除をしてりつばな憲法を安置したい」と、こればかりを考えてきたのである。

階級はせせら笑いながら、次の目的に向かつて虎視眈眈と準備を進めているのだ。

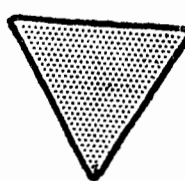
だった。自民党は、もう然たる反対の声を議席数でおし潰して強行突破した。税率ひとついじれば、いくらでも税金をまき上げることのできる税制を導入することなしに、戦争などできないからである。そして、「教育改革」に手がついていた。「日の丸・君が代」の義務化が決まろうとしている。反対する先生には、徹底した処分が始まっている。日教組大会の前日、大会に挑戦するかのようによ発表された「教科書検定」では、「日の丸・君が代」が全教科書に記載され、軍神東郷平八郎が英雄として登場し、「ヤマトタケルノミコト」も復活した。国家主義のイデオロギで子供たちの頭のなかまで支配されようとしている。そして、日教組大会の議案書からは、「闘争・闘争・粉砕・撤回」という言葉が消えて無くなった……。

## 「戦争」について考える！

4

### 総仕上げは、 憲法改悪・徴兵制

行政改革の一つの柱は言うまでもなく、八七年国鉄の分割・民営化だった。国鉄労働運動壊滅攻撃は、累々たる国鉄労働者の誠のうえに、二年後、総評解体・連合結成に行きついた。労働運動をつぶせ！総評を叩きつぶせ！、攻撃はまずここから始まった。そして今や、労働組合の惨たんたる状況、野党と自民党のなれ合いは、産業界・大政翼賛会そのものだ。財政改革の柱は、消費税の導入



「戦後政治の総決算」の最後の総仕上げが、憲法改悪だ。中東危機を千載一遇のチャンスとばかりに、「フセインは悪魔だ」「平和のためだ」と、自衛隊海外派兵の

既成事実をつくり、返す刀で社会党を徹底的に叩きのめし、そして、自衛隊派兵の法制化、小選挙区制を導入に向けて動きだした。小選挙区制で、自民党が三分の二の議

席を占めれば、直ちに憲法改悪が表だって動きだすだろう。「政治改革は国民の願いだ」などという、小選挙区制の宣伝文句だつて、ちよつと考えてみれば完全にインチキだ。ペテンもいところだ。本来は「リクルート」みたいな政治の腐敗を無くそうというのが、「政治改革」の目的だつたはずだ。それがいつのまにかすり変わって、四〇%の得票で八〇%の議席を確保できる自民党独裁の仕組みが、つくられようとしている。そして、田中角栄が「小選挙区制」を導入しようとしたときのような激しい反対の闘いは、今は、どこにもない。